

令和4年度のいじめアンケートの結果と対応について

今年度も「いじめに関するアンケート」については、いじめの早期発見を目的として、全校児童生徒と保護者の皆様に協力をいただいで実施しました。

令和4年度の「いじめに関するアンケート」は、児童生徒2回、保護者の皆様には2回実施いたしました。

児童・生徒のアンケート結果については、「変な呼び方をされたりする」「嫌なことを言われたりする」「友達に無視されたりする」といった項目に対して「はい」と回答した児童生徒がいました。担任等で丁寧な聞き取りや普段の様子についての確認を行い、その内容をもとにいじめ対策委員会で検討したところ、いじめの加害者と被害者の関係ではないという結論にいたり、「現在本校では、いじめの実態は見られない」との結論になりました。

保護者の皆様からのアンケート結果については、ほぼ全員に近い方々より回答をいただくことができ、「いじめを受けている」、「いじめをしている」の回答はありませんでした。しかし、「わからない」という項目への回答があったり、「もしかしたら、自分の子どもがいじめているという意識のないままいじめているかも…」「本人から学校の様子について話を聞くことができないため」などのご意見をいただいたりしました。個別面談の際に、改めて詳しいお話をいただき、担任より学校生活での様子と「いじめ」の様子は見られないことを伝えさせていただき、安心していただくことができました。

今年度のいじめに関するアンケートのご協力ありがとうございました。いじめに関するアンケートを実施することで、子どもたちの様々な状況を知る良い機会となっております。今後もいじめに関するアンケートや個別懇談等を継続的に実施していきながら、子どもたちの悩みや不安などを早期に発見・解決したり、問題に発展しそうな行動を未然に防止したり、将来に向けての支援をしてまいります。

